

分科会 SESSION ①  
(2016.12.10, 15:50-17:50)

時間	司会	A	B	C	D	E
15:50-16:20	鈴木 義孝 関西大学	コマーシャル・ミュージアムにみる明治期の日白関係 <b>三宅 拓也</b> 京都工芸繊維大学	低地地方（ベルギー・オランダ）が欧州統合に果たした歴史的役割 <b>奥西 孝至</b> 神戸大学	ローデンバックと日本 <b>村松 定史</b> 元名城大学	初期ネーデルラント絵画の「豊かな世界」 <b>荒木 成子</b> 清泉女子大学名誉教授	日本再富教とベルギー人神父・キリスト教美術の観点から <b>蜷川 順子</b> 関西大学
16:20-16:50		日本における高等商業教育の導入とベルギー <b>大槻 忠史</b> 群馬大学	ヨーロッパ統合とベルギー政治 <b>正林 朝香</b> 京都産業大学	ローデンバックの写真小説 <b>塚本 昌則</b> 東京大学	La peinture flamande du XVIe siècle, un phénomène international (通訳つき)	姉妹都市提携にみる日白交流の展開とその意義 <b>井内 千紗</b> 国際短期大学
16:50-17:20		日白修好通商航海条約に関する歴史社会言語学的考察 <b>石部 尚登</b> 日本大学	ブリュッセル学 何がブリュッセルのか <b>小川 秀樹</b> 千葉大学	翻訳・再話の中で失われたものー日本におけるモリス・マーテルリンク『青い鳥』の新たな解釈の可能性を探るー <b>内田 智秀</b> 名城大学		越境する日本とベルギー：グローバルファッション史を変えた二つの小さな国家 <b>高木 陽子</b> 文化学園大学
17:20-17:50			ベルギーにおける移民政策の展開 <b>中條 健志</b> 大阪市立大学	フランドル地域における子どもの本ー『フランダースの犬』だけではなくー <b>野坂 悦子</b> 翻訳家・作家	<b>Didier MARTENS</b> Université libre de Bruxelles	

分科会 SESSION ②  
(2016.12.11, 10:00-12:00)

時間	司会	A	B	C	D	E
10:00-10:30	大久保 信行 中央大学	ダミアン神父と後藤昌直医師：ハンセン病に立ち向かった二人 <b>湯地 晃一郎</b> 東京大学医科学研究所	日白修好150周年の法学史ー日白修好通商航海条約から日欧EPAまで <b>牛嶋 仁</b> 中央大学	精神科医のSF小説ーステファヌ・オータンことエチエンヌ・ド・グレーフによる知の越境の軌跡ー <b>梅澤 礼</b> 立命館大学	転用と独創のあわいで：ヤン・ファン・エイク作《ロランの聖母》について <b>佐藤 龍一郎</b> 東京大学	都市圏外への移住経験を聞き取るーブリュッセルの郊外化・逆都市化過程から <b>山口 博史</b> 都留文科大
10:30-11:00		昭和天皇の生物学ご研究を通じたベルギーとのご交流 <b>並河 洋</b> 国立科学博物館	失われた民主主義への道：明治日本の司法制度の近代化における小国ベルギーの影響 ディミトリ・ヴァノーヴェルベケルーヴァン・カトリック大学 (KU Leuven)	アンリ・ミショーと「ベルギー性」 <b>田母神 顯二郎</b> 明治大学	メルボルンのヴィクトリア国立美術館蔵「キリストの奇蹟の祭壇画」ー図像解釈と制作年代ー <b>平岡 洋子</b> 明治学院大学	ベルギーの田園都市 <b>平岡 直樹</b> 九州大学
11:00-11:30		印刷革命がはじまったーブランドン=モレットゥス博物館との交流を通して <b>中西 保仁</b> 印刷博物館		小説家トゥーサンと日本の緊密な絆 <b>吉村 和明</b> 上智大学	ルネ・マグリットの《迷子の騎手》（1926年）における墓地の記憶 <b>吹田 映子</b> 筑波大学	ベルギーにおける生涯学習の実態、貧困層のための言語教育を中心に ルート・ヴァンバーレン 筑波大学 ジョナサン・ハリソン 日本大学
11:30-12:00		Innovation through the Digitization of Design and Manufacturing <b>Wim DESMET</b> Katholieke Universiteit Leuven				ベルギーの芸術家村におけるルーラル・ジェントリフィケーションーセント・マルティンス・ラテムを事例としてー <b>飯塚 遼</b> 秀明大学

分科会 SESSION ③  
(2016.12.11, 13:30-15:30)

時間	司会	A	B	C	D	E
13:30-14:00	大久保 信行 中央大学	メルカトルとオルテリウスの地図と地図帳にみる日本との関わり <b>島津 俊之</b> 和歌山大学	国家改革における憲法裁判所の役割 <b>武居 一正</b> 福岡大学	La Circulation internationale des écrivains belges francophones (通訳つき) <b>16</b>	ヴァン・デ・ヴェルデと「アール・ヌーヴォー」の初期思想ーフランスとの関係からー <b>白田 由樹</b> 大阪市立大学	*予稿集の入手方法 How to Obtain the Preprint  シンポジウムウェブサイトよりダウンロードいただけます（11月下旬発行予定）。当日は印刷版も販売しません（要事前予約）。  Downloadable from the symposium website (as from late November). The printed version can be purchased at the symposium (reservation required).
14:00-14:30		今こそ、ベルギービールに学ぶ <b>渡 淳二</b> サッポロホールディングス株式会社	ベルギーにおける立憲君主制の意義と可能性 <b>矢島 基美</b> 上智大学	Paul ARON Université libre de Bruxelles	日本美術とベルギーのアール・ヌーヴォーブリュッセル・リヴモンのポストー作品に見るハイブリディティーについて <b>トゥーレン・サスキア</b> 文化学園大学	
14:30-15:00		ベルギーとカリヨン <b>田村 統三</b> 元株式会社カリヨン・センター	公文書館から見た「民主主義」の今ーベルギーと日本ー <b>笹川 武</b> 内閣府	Japan as a «Striking of a Gong» for the Early Belgian Literary Avant-garde (around 1870) <b>Clara SADOUN-EDOUARD</b> Université libre de Bruxelles/Kobe College	コンスタンタン・ムーニエと日本 <b>迫内 祐司</b> 小杉放電記念日光美術館	
15:00-15:30			合意型デモクラシーとしてのベルギー政治 <b>津田 由美子</b> 関西大学		19世紀ベルギーにおけるアジア楽器の収集と展示 <b>大迫 知佳子</b> 広島文化学園大学	